

家政学科 カリキュラム（2020年度入学生用）

カリキュラム・ポリシー	教育課程の編成		・「被服科学デザイン科学」「住空間」「生活マネジメント」の各コース専門科目と、それ以外の専門共通科目で構成する。専門共通科目は、家政学の基本的知識・理解に関わる基礎に加え、専門的な資質・能力の育成に関わる科目を包含する。この教育課程の編成によって、家政学全般の学習とともに、各領域についての専門性を体系的に深める。 ・講義形式、演習形式、実験・実習形式、卒業研究等さまざまな教育方法をとることで、理論的知識の教育と実践的な教育の両立を図る。 ・教職課程を設置し、家庭科の全分野に強い中学校・高等学校の家庭科教員を養成する。 ・家政学に関連する資格取得につながる授業科目を開設する。							
	学年毎	1回生	2回生		3回生		4回生			
		「家政学を学ぶ」「生活情報処理」等の科目で学習の基盤となる学習習慣、言語能力、情報リテラシー、情報活用能力等を身に付け、家政学の広い分野を知るとともに、将来の進路を展望する。	学生が自分の関心や進路に合わせて履修し、専門分野の基礎的な能力を身に付ける。後期に「被服デザイン科学」「住空間」「生活マネジメント」の3コースのなかから選択したコースを登録する。		主として選択したコースの専門分野についての講義科目、実験・実習・演習科目を履修し、より深い知識の習得を目指す。また、後期からは「卒業研究基礎演習」を履修して、専門分野に関する知識や研究方法を習得・理解し、4年次の卒業研究につなげる。		「卒業研究」を履修し、専門分野に関する研究に取り組み、学びの集大成とする。			
		基礎学力や情報処理能力などの習得	専門分野の基礎的な能力などの習得		専門分野のより深い知識や技能の習得		学びの集大成			
科目群毎			1回生		2回生		3回生		4回生	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門共通科目	各コースに縛られることなく家政学の各領域や情報等に関する科目を広い視点で学習する。家政学の基本的な知識や、学習の基盤となる情報処理能力や実験の基礎技術を習得したうえで、現代的な生活問題を正しく捉え、解決のための視点や方法を習得する。		家政学を学ぶ	生活経営学【中高必修】	生活統計学【社会調査士】	基礎調理学実習【中高必修】	保育学(実習及び家庭看護学を含む)【中高必修】	卒業研究基礎演習	卒業研究	
			家政学原論	生活情報処理【高免必修】【社会調査士】	色彩論【中高選択】	栄養学総論【中高必修】	フィールドワーク	家庭電気・機械【高免必修】		
			くらしの経済学	アパレル造形学【中高必修】	住居計画学(製図を含む)【中高必修】		和装文化演習	生活環境学【中高選択】		
			くらしの社会学	人間生活工学	人間生活工学演習		食品学総論【中高必修】	公衆衛生学		
			住生活文化論【中高選択】		家庭科指導法Ⅰ【中高必修】	家庭科指導法Ⅱ【中高必修】	(家庭科指導法Ⅲ)【中免必修、高免選択】	(家庭科指導法Ⅳ)【中免必修、高免選択】	教職実践演習(中・高)【中高選択】	
			生活材料学【中高選択】	衣生活文化論				教材開発研究【中高選択】		
コース専門科目	被服デザイン科学コース科目	将来、「衣」に関連する分野でより専門的な職務に就くことを想定し、繊維の特性、アパレルの構造や快適性等、アパレルに関する講義や演習、実験等を通して、被服と人間との関わりについて学ぶ。		生活科学基礎演習	被服管理学【中高必修】	アパレルCAD入門	被服衛生学			
				繊維材料学	被服科学実験【中高選択】		ファッションビジネス論			
				ファッションデザイン演習	繊維製品品質管理		アパレル造形演習			
					【前期又は後期】基礎アパレル造形演習【中高必修】					
	住空間コース科目	暮らしの基盤となる住空間について、インテリアデザインからまちづくりまで、人の生活と空間との関わりについて、理論と実践の両方から学ぶ。		基礎製図演習	住空間設計実習	インテリアデザイン演習	空間デザイン演習	都市デザイン演習		
					インテリアデザイン論	福祉住環境学【中高必修】	インテリアCAD入門	室内環境学演習		
							都市デザイン論			
							室内環境学			
	生活マネジメントコース科目	家計・家族を中心に地域社会との連携をを計りながら、問題解決の実践力や、よりよい生活をマネジメントする力が身に付くよう、講義や演習を通して学ぶ。			生活経済学【中高必修】	家族関係学【中高必修】	パーソナルファイナンス論	家庭福祉論		
					社会組織論	生活プロジェクト論	生活プロジェクト基礎演習【社会調査士】	生活プロジェクト応用演習【社会調査士】		
					社会調査法【社会調査士】	社会調査法演習【社会調査士】				

赤字：必修科目

ただし、衣生活文化論は被服デザイン科学コースは必修、住生活文化論は住空間コース必修

黒字：専門共通科目の黒字の科目は選択科目、コース科目の黒字は選択必修科目

ディプロマ・ポリシー

【知識・技能】

1. 生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。
2. 家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活マネジメントの各領域についての専門的知識・技能をもっている。
3. 人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。

【思考力・判断力・表現力等】

1. 社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。
2. 社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。
3. 個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。

【主体性・多様な協働性】

1. 社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。
2. よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。
3. 責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。